

歳入と歳出

平成30年度主要事業

- 新規事業 問い合わせ
- ◎ 一部新規事業 企画グループ
- 継続事業

①大阪狭山らしさを創出する 自立と協働のまち

○地区集会所建設補助金事業

359万7千円

地域コミュニティ活動を促進するため、コミュニティ活動の拠点である地区集会所の整備費を助成しました。

○南中学校区円卓会議交付金事業

493万7千円

高齢者の健康増進に対する意識を高めるための元氣クラブ体操や、地域コミュニティの交流を図るための元氣ウォーキングを開催するとともに、地域の安全・安心を維持するため、青色防犯ハットロール、災害時の避難所開設訓練などを実施するための交付金を交付しました。

○第三中学校区円卓会議提案事業

180万1千円

地域内で活動する様々な団体や個人が気軽に交流できる場を提供するため、グラウンドゴルフ大会や夏まつりを開催するとともに、地域の魅力を再発見するため、三中円卓マップを利用したウォーキングを実施しました。また、菜の花いっぱい運動や休耕地を活用したフラワーガーデンの推進、避難所開設訓練など、地域が一体となった取り組みを推進しました。

○狭山中学校区円卓会議提案事業

376万8千円

校区内の親睦、交流を図りながら地域住民のコミュニ

○子ども医療対策事業

2億255万5千円

子育て支援をより一層推進し、子どもの健やかな成長のさらなる促進を図るため、中学3年生までの医療費の助成を継続しました。

③人と自然が共生する 環境にやさしいまち

○市内公園・緑道照明灯LED化事業

961万6千円

利用者が安心して利用できる施設づくりと低炭素社会の構築に向けたエネルギーの効率的な利用を推進するため、市内の公園や緑道の照明灯をLED化しました。

○市内公園遊具改修事業

1886万1千円

市内公園(西山台第4公園、池尻第8公園)の老朽化した遊具を更新するとともに、現状のニーズに合った遊具を新規に設置しました。

●狭山池橋下アンダーパス整備事業

750万9千円

府道森屋狭山線によって分断されている狭山池公園南側入口と西除川緑道を立体交差により接続し、歩行者や自転車利用者の利便性・安全性の向上を図るため、狭山池橋下にアンダーパス掘り下げ式通路を整備するための測量設計業務を行いました。

●西新町公園整備事業用地購入事業

850万1千円

水と緑のネットワークの形成に重要な公園と位置付けている西新町公園の事業用地を拡大し、副池オアシ

ニティづくりを進めるため、「さやりんピック」や「地域文化祭を開催するとともに、地域美化運動や福祉・教育に関する活動を実施したほか、地域情報誌の発行や講演会などを行いました。

●男女共同参画推進プラン改定事業

265万7千円

「第3期大阪狭山市男女共同参画推進プラン」の中間年度にあたり、社会経済情勢の変化や国および大阪府の上位計画との整合を図るとともに、女性活躍推進法に基づいた新たな施策などに柔軟に対応するため、市民ニーズや本計画の進捗状況などを踏まえた見直しを行いました。

●平和啓発学習事業

11万7千円

次世代への戦争体験の継承と平和啓発を行うため、小学生と保護者を対象としたフィールドワークを実施しました。

②健康で安心して暮らし続けられる 思いやりのあるまち

◎緊急通報システム事業

127万4千円

高齢者の日常生活上の安全確保や、精神的な不安を解消するため、緊急時に通報できるシステムをより多くのひとりと暮らす高齢者や高齢者世帯などが利用できるよう、対象者の基準を緩和して実施しました。

ス公園との一体的な再整備を行うため、隣接する民有地を取得しました。

○市民ふれあいの里花と緑の広場施設改修事業

153万9千円

だれもが快適で利用しやすい施設をめざし、市民ふれあいの里花と緑の広場にあるリス園の木柵を改修しました。

●ナラ枯れ被害木等高木伐採事業

260万8千円

ナラ枯れ(コナラなどの樹木の病気など)高木の立ち枯れが相次いでいることから、倒れる危険性が高く、特に風水害による人的・物的被害が危惧されている樹木の伐採など、計画的に樹木を管理しました。

○住宅用再生可能エネルギー等設備導入費補助事業

495万円

地球温暖化対策における市民の積極的な取り組みを促進するため、太陽光発電システムをはじめ、燃料電池コージェネレーションシステムおよび蓄電池システムといった住宅用の再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備導入費の一部を補助しました。

④ともに学び世代をつないで 人を育むまち

●学校施設長寿命化計画策定事業

1120万円

学校施設の長寿命化を図るため、個別施設の評価を実施するとともに、その評価を踏まえた学校施設長寿命化計画の策定に向けた調査を行いました。

●産婦健康診査事業

345万5千円

産婦が出産後も母子ともに健康で過ごすことができるよう、産後2週目と4週目を目安に産科医療機関などにおいて実施する健康診査の受診料を補助しました。

●多胎妊婦健診追加助成事業

3万1千円

妊婦健診の回数が多くなる場合がある多胎妊婦が安心して妊婦健診を受診できるよう、単胎妊婦に交付している14枚の受診券に加え、さらに5枚の受診券を交付しました。



●健康大阪さやま21(第2次計画)及び食育推進計画評価事業

229万9千円

健康大阪さやま21(第2次計画)の中間評価としての市民アンケート調査と第2次食育推進計画の策定に向けたアンケート調査を併せて実施しました。

●自殺対策計画策定事業

165万2千円

自殺対策基本法に基づき、だれも自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざし、生きることの包括的な支援と関連施策との連携を強化する計画を策定しました。

●生活困窮者子どもの学習支援事業

146万円

貧困の連鎖を断ち切るため、生活困窮者世帯の子どもおよび生活保護受給世帯の子どもに対して学習支援を実施しました。

●教育振興基本計画改定事業

70万円

市の教育振興のための施策に関する計画が令和元年度で満了することに伴い、施策の進捗状況の検証や評価を行うとともに、計画改定に向けた大阪狭山市教育振興基本計画策定委員会を開催しました。

●防災拠点(屋内運動場)及び普通教室無線LAN整備事業

2889万4千円

災害発生時における情報収集手段を強化するため、緊急かつ一時的な避難場所である防災拠点(屋内運動場)に無線LANを整備しました。また、教育環境の充実を図るため、普通教室においても、児童・生徒が教室内でタブレット端末などを有効活用できる環境を整えました。

○小・中学校給食用エレベーター改修事業

5354万3千円

学校施設の老朽化対策として、南第三小学校および北小学校の給食用エレベーターを計画的に更新しました。

○学校施設大規模改造事業

3億6620万3千円

建築後25年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいた第三中学校の特別教室棟などの大規模改造工事を行いました。

○給食センター施設改修事業

1億9031万円

安全・安心な学校給食を提供するため、供用開始後40年以上が経過し、老朽化している学校給食センターの施設設備を計画的に更新しました。

●放課後児童会アドバイザー設置事業

176万円

放課後児童会支援員の活動は高い専門性が求められるため、事業に精通したアドバイザーを配置しました。

●北放課後児童会運営業務委託事業

3308万3千円

放課後児童会の入会希望児童数の増加に伴い、新たに専用教室を設置した北放課後児童会において、専門的なノウハウを取り入れ、さらに安全で円滑な放課後児童会を運営するため、事業運営を民間事業者に委託しました。

●就学援助事業

614万7千円

経済的な理由により、就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、これまで入学後に支給していた就学援助金のうち、新入学児童生徒学用品費について、平成31年度入学児童生徒分からは、入学前に支給しました。

●図書館施設整備事業

76万7千円

市民が安全でより快適に利用できるよう、計画的に施設の改修を行うとともに、狭山駅に図書返却ポストを設置しました。



●スポーツ施設整備事業

1704万7千円

市民が安全でより快適に利用できるよう、総合体育館の消火栓や高圧受電設備用ケーブルおよび野球場の高圧受電設備用ケーブルを改修しました。

●歴史文化基本構想策定事業

691万4千円

文化財保護のマスタープランとしての役割を果たす「大阪狭山市歴史文化基本構想」を策定しました。また

●同報系防災行政無線再整備事業

280万8千円

消防庁の全国瞬時警報システム（緊急地震速報）の警報発信内容の更新などに伴い、新型受信機を導入しました。

●空家等対策計画策定事業

539万5千円

空家などに関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、国の基本指針に即して計画を策定しました。

●道路拡幅整備等事業

2637万4千円

市民が安全で快適な生活を送ることができるよう、市内の交通の円滑化や狭隘道路の拡幅など、交通環境を改善しました。

●交通安全環境整備事業

9522万4千円

市内の歩行者・車両などの通行の安全を確保するため、市内の老朽化した道路を計画的に補修しました。

●火葬炉改修事業

1億円

今後の火葬需要の増加に対応できる冷却設備を備えた火葬炉の導入や諸室の整備を行うため、改修工事に着手しました。

●魅力発信事業

222万1千円

市の魅力を発信するため、各種プロモーション活動や市ホームページ、SNSを通じて情報発信に取り組みました。

●北条五代観光推進事業

46万2千円

神奈川県小田原市などの自治体などで構成する北条五代観光推進協議会で、狭山藩北条氏の先祖にあたる

策定後は、日本遺産の認定に向けた準備を進めました。

●郷土資料館企画展事業

145万6千円

明治維新150年、南海高野線開通120周年の節目の年を迎え、市の歴史に対する愛情を深め、歴史文化の豊かなまちづくりを進めるため、「南海高野線120年の歩み」はじまりは大小路「狭山間」をテーマとした企画展を開催しました。

○（仮称）第2子育て支援センター整備事業

5億656万4千円

子育てに関する相談や講座などを通じて子育て支援や、地域の幅広い年齢層の市民の利用を通じて、子どもを中心に据えた世代間交流ができる拠点として、UPつぶ（子育て支援・世代間交流センター）を開設しました。

●利用者支援事業

709万8千円

保護者が教育・保育施設や子育てサービスを円滑に利用し、子育て家庭の個々のニーズに合った支援を行うため、保育・子育てコンシェルジュによる相談や助言を行います。



小田原北条氏にゆかりのある市町村との交流を深めるとともに、北条氏の多様な偉績や魅力を活用した観光事業を展開し、市の歴史、特に狭山藩北条氏存在を市内外にアピールしました。

●公共下水道整備事業

2億9581万2千円

下水道施設の長寿命化事業や耐震化事業を継続的に進めるとともに、自然災害などから市民生活を守るため、効果的な雨水整備事業を行いました。また、指定避難所8か所に災害用マンホールトイレを整備しました。



●技能検定受検料補助事業

2万1千円

市内事業所の従業員の技術向上を支援するため、働く上で必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度である技能検定について、市内の事業所の従業員が検定に合格した場合に、事業者に対し検定費用の一部を補助しました。

●消防車両等整備事業

3628万6千円

各種災害救助活動を実施するにあたり、消防車両を安全かつ効果的に運用するため、15メートル級はしご車のオーバールーフ付積載車を行うとともに、消防団半田分団の小型動力ポンプ付積載車および今熊分団の消防ポンプ自動車、広報車を更新しました。

●水道施設整備事業

2億3170万円

水道水を安全に安定して提供するため、老朽化し

○認定こども園施設整備事業

8億9440万2千円

西幼稚園、南第二幼稚園を廃園し、大谷さやまこども園、大野台こども園を新設しました。

⑤にぎわいがあり
安全で快適な暮らしのあるまち

◎防犯活動推進事業

481万6千円

地域防犯活動への支援を強化するため、街頭防犯カメラの設置費用の一部を補助するとともに、市内主要箇所に街頭防犯カメラを設置しました。

●気象観測装置設置事業

25万9千円

市南部の丘陵地の降雨状況を把握し、災害の未然防止や対応の迅速化を図るため、狭山ニュータウン地域内に気象観測装置を設置しました。

○自主防災組織育成事業

142万円

市民が安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織に資機材を貸与しました。

○自主防災組織活動支援事業

122万5千円

自主防災組織に対し、防災資機材の購入費や防災活動費の一部を補助しました。

○地域防災推進リーダー育成事業

18万円

自主防災組織などのリーダーを育成し、地域防災力のさらなる向上を図るため、防災士の資格取得を支援しました。

た送配水管など老朽管路の更新および耐震化を進めました。

⑥みんなで創る持続可能なまち

●道路台帳電子化事業

1750万7千円

適切かつ効率的な道路管理を行うため、維持工事や修繕履歴のデータも含めた道路台帳の電子化を行いました。

●庁内情報システム及びネットワークシステム更新事業

3605万9千円

庁内における情報システムを再構築するため、庁内情報システムのハードウェアを更新するとともに、ネットワークシステムを安全かつ柔軟な運用が可能なものへと更新しました。

●第五次総合計画策定事業

345万6千円

令和3年度からスタートする市の新たな方向性や将来像を示す「第五次大阪狭山市総合計画」の策定に向け、まちづくり市民会議を開催し、提言をいただきました。また、関係団体などへのアンケートを実施したほか、第四次総合計画の実施状況を取りまとめました。

●まちの活性化推進事業

435万8千円

狭山ニュータウン地区の諸課題に対し、住民や自治会、地域活動団体、事業者、大学、行政など多様な主体が互いに連携し、将来に向けて活性化を図っていくための基本的な考え方を示した「狭山ニュータウン地区活性化指針」を策定しました。